

平成30年度 障がい者支援施設敬仁会館事業計画

1. 施設理念

「利用者の人権を尊重し、権利擁護に取り組みます」

2. 施設方針・テーマ

『ともに働き、ともに生きる施設づくり』

- ① 徹底した安全管理とコンプライアンスの徹底
- ② 利用者が「生きがい」と「働きがい」を感じる支援サービスの提供
- ③ 施設機能の活用を踏まえた地域貢献・社会貢献の実践

- ・利用者の人権を尊重し権利擁護に徹した「安心と安全で専門性のある良質なサービス」を提供し、顧客から信頼される施設運営を行う。
- ・利用者個々の障がい特性に配慮した意思決定を尊重し、施設や地域で自分らしい自立した生活が送れる必要な支援を行う。
- ・就労支援を通じて働く喜びを体得し、責任感を育て社会人としての意識を高める就労の実践の場を提供する。
- ・利用者の稼働延人数目標を設定し、経営基盤の安定と健全経営を図る。
- ・特に今年度は、既存グループホーム2棟の移転と併せ、老朽化した賃借グループホームを返却し自己資金による移転新築の事業が完了する。高齢重度化する利用者が快適に生活出来る場所作りで、より一層の在宅障害者の生活拠点の充実を図る。

3. 実施事業

(1) 障害者支援施設

- * 施設入所支援 定員 65名
- * 短期入所 定員 5名
- * 生活介護 定員 80名

(2) 就労継続支援B型

- * ワークサポート 敬仁会館 定員 54名
- * ワークサポート あしたば 定員 20名
- * ワークサポート 琴浦 定員 20名

(3) 就労移行支援

- * ワークサポート 敬仁会館 定員 6名

(4) 共同生活援助（グループホーム）

- * グループホーム敬仁会館 定員 63名
(年度中途、賃借から新築により場所と定員の変更予定)
- * グループホーム琴浦 定員 10名

(6) 地域生活支援事業（日中一時支援事業）

- * 障害者支援施設 敬仁会館

(7) 特定相談支援事業所

- * 障がい者サポートセンター 敬仁

4. 重点目標

敬仁会館が運営する多機能障害サービス事業の各部門の職員が、自分の所属部署の事業使命を常に念頭に置きながら、以下の6項目の目標達成に向けた活動を実施する

(1) 利用者へのサービス提供

- ◆ 利用者の権利擁護、事故防止・災害防止・防犯体制等の安全確保
- ◆ スーパーバイザー導入による自閉症、発達障がい者、高齢障がい者等への支援充実
- ◆ 安心・生きがい・働き甲斐を感じる生活環境の整備

(2) 施設・設備整備

- ◆ はあとハウス2棟移転・賃借GHの移転新築着手
- ◆ 利用者の生活環境改善・作業生産性向上・建物老朽化対応のための施設整備

(3) 施設管理

- ◆ 本館・あしたば・琴浦・GHの建物維持の定期点検強化と施設内外の環境美化
- ◆ 火災、天災を想定した訓練の他、災害全般のリスク体制の構築

(4) 職員管理

- ◆ 職員の若年経験職員の福祉全般・障がい特性の基礎知識の習得と、人権尊重・権利擁護の意識高揚と虐待防止含むコンプライアンスの強化
- ◆ 役職者による部下の定期的な面談により労務管理、メンタル・ストレスマネジメントも踏まえた、労働環境改善

(5) 経営管理

- ◆ 稼働目標及び経営数値目標達成の為の適時の数値分析と対策実行
- ◆ 主任以上役職者に、経営情報提供等で経営参画の意識を高める

(6) 地域との連携

- ◆ 法人計画と連動した社会貢献の取り組み
- ◆ 機関紙・ホームページを充実し地域への情報配信

(7) その他(就労支援)

- ◆ 受託作業の安定受注と自主生産品目の販売拡大と独自の販路拡大による収益アップ
- ◆ 職員からの商品企画・販売促進・アイデアなどの提案導入による工賃アップ
- ◆

5. 新規事業

* 新規事業無し

* 県道拡張に伴うグループホーム上井の2棟の移転と老朽化した賃借家屋を新築への事業（平成30年12月事業完了予定）